

2023-24 年度 退任のご挨拶

1 年間、幹事を務めさせて頂きました水谷でございます。

この 1 年間を振り返ると東京リバーサイドロータリークラブ会員の皆様には感謝しかございません。

まず、1 つ目の感謝は今年度、林昌弘会員、藤井政輝会員、大石賢代会員の 3 名に入会して頂いたことです。ロータリークラブ全体の会員数が減少している中で 3 名の加入は今後の当クラブの活動に大きな力となることは間違いありません。3 名の方々には当クラブの雰囲気になれていただき、際限なくロータリー生活を送って頂きたいと思っております。また、クラブ細則の改訂により、退会された会員の再入会の条件を定め、退会者への呼びかけを行った結果、重田義晃会員に再入会して頂きました。当クラブは 26 年目を迎え、会員の高齢化等で退会される会員も増えてきている現状で重田会員の加入は大変喜ばしく感じています。



2 つ目の感謝は例会場の変更について会員の皆様の同意が得られたことです。例会場の変更については新谷会長ノミニー、鈴木パスト会長、藤井会長と 3 代に渡って継続されたプロジェクトで今年度ようやく達成することができました。改めて会員の皆様には心から感謝するとともにクラブが今後一層盛り上がることを期待しています。

3 つ目の感謝は各委員会の委員長の皆様です。SAA 有賀会員の例会時の司会ではスムーズな進行とタイムスケジュール管理、そして臨機応変な対応で例会が和やかな雰囲気の中にも緊張感が持てたと思います。西山親睦委員長には特にクリスマス会と親睦旅行では万全の準備と当日の対応により参加会員の皆様をはじめ、そのご家族の方々には大変満足して頂けたと思っております。中原プログラム委員長には卓話で少しでも会員の皆様に興味をもってもらえるようなプログラムにして頂きました。郷田 IT 委員長には例会時の IT 準備の当番制や YouTube 配信で卓話の要約を追加し、見る側への配慮をして頂きました。天沼米山奨学委員長兼カウンセラーにはヒダヤット・アルサ・ジハン君（早稲田大学）と柿田川清掃等、1 年間サポートをして頂きました。そして小根澤副会長兼クラブ奉仕委員長には、例会場変更準備や台湾東部地震、能登地震への寄付の対応をしていただきました。その他の委員長も含め、本当に 1 年間ありがとうございました。

4 つ目の感謝は事務局安田さんです。毎日のように連絡を取り合い、私の要望に答えていただきました。この 1 年間、幹事の仕事がこなせたのも安田さんの

おかげです。心より感謝致します。

最後になりますが、藤井会長が今年度テーマとした「絡合」については月毎の夜間例会や炉辺会合による絡合、多治見リバーサイドロータリークラブとの絡合、北分区 C グループに属するロータリークラブや上野精養軒を活用するロータリークラブとの絡合等、試行を続けてきました。これは今後のクラブ運営にとって重要な内容であり継続すべき活動であろうと思っています。そしてこのような活動に 1 年間広い心で見守って頂いた藤井会長には感謝しております。また、遠藤憲治会員に幹事就任時に「少しずつでいいからクラブが変化できればいい」という言葉を心の支えとして 1 年間活動してきました。今年度の活動が今後の東京リバーサイドロータリークラブの発展に少しでもお役に立てたならば幸いです。1 年間本当にお世話になりました。

2023-24 年度 東京リバーサイドロータリークラブ幹事
水谷 友哉